

勤務医の労働実態から みた働き方改革の課題

広島国際大学 医療経営学部

江原 朗

勤務医の労働実態の検証

- 1. 国際比較
 - 医師対患者数
 - 医師の労働時間、
- 2. 国内の時間帯ごとの医療需要
 - 外来受診
 - 入院時間帯

医師対患者数の 国際比較

人口1000人あたりの医師数 (OECD2017)

国	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
フランス	3.08	3.09	3.12	3.12	3.14
ドイツ	3.95	4.04	4.11	4.14	..
イタリア	3.87	3.9	3.88	3.84	3.96
日本	2.29	..	2.36
イギリス	2.75	2.77	2.79	2.79	2.81
アメリカ	2.5	2.56	2.57

1人あたりの年間外来受診回数 (OECD2017)

国	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
フランス	6.7	6.8	6.7	6.4	6.3
ドイツ	9.9	9.7	9.7	9.9	9.9
イタリア	6.8	..
日本	13.1	13	12.9	12.8	12.7
イギリス
アメリカ	4	4

人口1000人あたりのベッド数 (OECD2017)

国	2014年	2015年
フランス	6.22	6.13
ドイツ	8.23	8.13
イタリア	3.21	3.2
日本	13.21	13.17
イギリス	2.73	2.61
アメリカ	2.83	..

医師対患者の比率推定

(1) 外来患者数の入院患者数への換算

- 日本の医療法(一般病院)における必要医師数
 - 入院患者16人に1人、
 - 外来患者40人に1人と規定している
 - 医師の負担: 入院患者16人 \div 外来患者40名
(入院患者1人 \div 外来患者2.5名)と読める。
- 医師1人に対する入院患者換算の患者数を上記の比率で推計して国際比較。

医療法施行規則第19条に基づく必要な医師数の算定方法

	一般 病床	療養 病床	精神病床		感染症 病床	結核 病床
入院 (患者数対)	16対1	48対1	16対1 (100床以上)	48対1 (その他)	16対1	16対1
外来	40対1 (耳鼻咽喉科、眼科は80対1)					

医師対患者の比率推定

(2)入院患者数の推計

- 外来患者数：人口1000人・1日あたりの受診回数（OECD-「Consultations」）
 - 1人/2.5人をかけて入院患者数換算
- 入院患者数 \div 1000人あたりのベッド数。
（病床利用率100%と仮定）

入院中の患者数に換算した 患者1人あたりの医師数(医師/患者)

A/Dの値が入院換算患者数1人に対する医師数を示す

(OECD2017における2014年値)

国	A)医師数 (人/千人)	B)入院患者 (人/千人)	C)外来患者 (人/千人・日) (入院換算)	D) B+C 入院換算 患者合計	A / D (医師/入院 換算患者)
仏	3.12	6.22	6.90	13.12	0.24
独	4.11	8.23	10.85	19.08	0.22
伊	3.88	3.21	7.45	10.66	0.36
<u>日</u>	<u>2.36</u>	<u>13.21</u>	<u>13.92</u>	<u>27.13</u>	<u>0.09</u>
英	2.79	2.73	-	-	-
米	2.57	2.83	4.38	7.21	0.36

外来患者数は0.4倍して入院患者数に換算した。

A/D: 入院患者数に換算した患者1人あたりの医師数

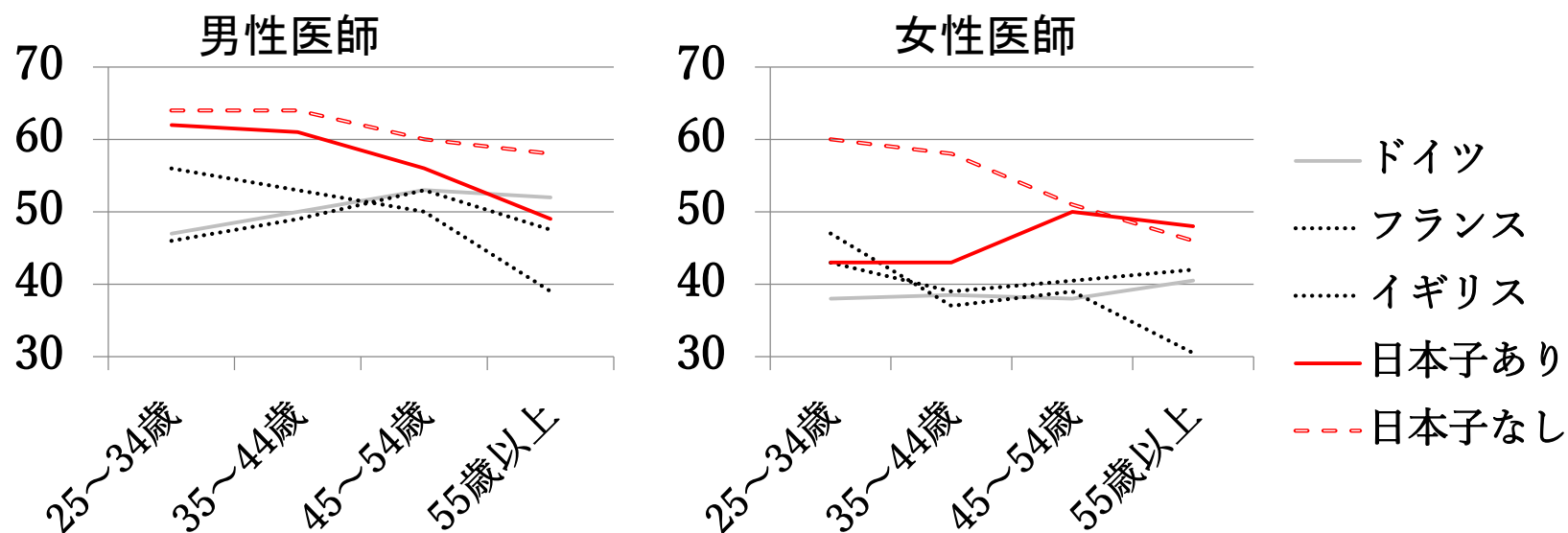
医師の労働時間の 国際比較

日本の年200日以上勤務の 正規職員の勤務時間数別比率

時間数	日本		(参考)アメリカ	
	総労働者	医師	時間数	医師
対象者数	33,110,400	168,400	解析対象数	約5,000
42時間以下	36.1%	19.3%	40時間以下	14%
43～59 時間	49.6%	38.9%	40～60時間	62%
60時間以上	14.0%	41.8%	61時間以上	23%
75時間以上 (再掲)	2.6%	<u>17.2%</u>	80時間以上 (再掲)	5%

- ・平成24年就業構造基本調査, 第34表(総務省)
- ・AMA(2015).

欧州と日本の勤務医の平均週労働時間の比較



- Steven Simoens, Jeremy Hurst ((2000 Eurostat Labour Force Surveyを解析)
- 第2回医師の働き方改革に関する検討会, 資料3

時間帯ごとの医療需要 (小児科・産婦人科を例に)

時間帯別平均出生数

全国の出生数・1日あたり

出生時間	総出生		病院における出生	
	平均出生数	比率	平均出生数	比率
0～7時代	751.1	25.6%	368.1	24.3%
8～15時代	1,330.3	45.4%	710.0	46.9%
16～23時代	849.1	29.0%	434.5	28.7%

・平成22年度 人口動態統計特殊報告

6歳未満児の時間外、休日、深夜の 外来受診比率の推移

(社会医療診療行為別調査)

年	診療時間内		診療時間外		
		合計	時間外	深夜	休日
A)平成18～22年	90.0%	10.0%	4.85%	0.79%	4.41%
B)平成23～25年	91.2%	8.8%	4.18%	0.65%	3.94%
差(B-A)	1.2%	1.2%	-0.67%	-0.14%	-0.46%

江原朗. 日本小児科学会雑誌 2015;119:1262-1268.

外来「初診」時に入院となった 乳幼児の受診時間帯別患者数

時間帯	病院・診療所全体	
診療時間内	18,282	60.8%
診療時間外	11,763	39.2%
時間外	(5,259)	(17.5%)
深夜	(2,983)	(9.9%)
休日	(3,521)	(11.7%)
総計	30,045	100%

(平成28年6月審査分)

江原朗. 日本医師会雑誌, in press

まとめ

- 諸外国と比べて、日本では患者あたりの医師数が少ない。
- 日本の医師の労働時間は諸外国を上回る。
- また、時間帯にかかわらず医療需要が生じている。



- 労働法規に準じた働き方を設定するには、
 - 医師の集約化・重点化による勤務環境の改善
 - PAの導入などタスクシフトを行う職種の新設、
 - 子育て中の女性医師や高齢の医師の医療現場への参画を求めて、短時間勤務の導入などの多様な対策が必要となる。